

岸本公民館だより

第3号：令和3年9月25日発行



9月に入ってもまだまだ暑い日が続いていますが、田んぼでは稲穂も黄金色になり秋の気配を感じるようになりました。さて、今年の夏の一大イベントと言えば、新型コロナウイルスの感染拡大が危ぶまれる中での東京2020オリンピック・パラリンピックの開催でした。県内出身選手が初めて金メダルを獲得するなど日本選手の活躍は目覚ましく、多くの感動と元気をいただきました。一方では、西部地区にコロナの特別警報が発令され、感染拡大防止の観点から子供たちが楽しみにしていた「夏休みのお楽しみ事業」もすべて中止にせざるを得ませんでした。10月に開催予定の町民運動会もすでに中止が決定しています。高齢者学級を始め、各種講座、公民館事業も今のところ開催の目途が立っていませんが、開催できるようになりましたら皆様にご案内したいと思いますのでよろしくお願い致します。これからもこの公民館だよりを通して、公民館の近況なり、学習情報を伝えて参りたいと思いますのでぜひご一読ください。 岸本公民館長 野坂幸二

公民館教室 紹介「和太鼓きつず～KORAKU～」



高森佐千代 先生

昨年4月、伯耆町に子どもの和太鼓教室がスタートしました。毎週金曜日19時から農村環境改善センターが練習会場です（新型コロナウイルスワクチン接種期間は他会場で）。指導する高森佐千代先生は「芸能集団和楽衣箱^{わらいばこ}」を主宰して鳥取県西部を中心に公演活動をされ、芸歴40年、指導歴25年以上の和太鼓プロパフォーマーです。6歳から和太鼓、10歳から篠笛を始め、現在は篠笛の指導者としても活動されています。先生は「最近、和太鼓がお子様のお稽古事として人気を集めています。大きく体を動かす和太鼓の演奏は体幹を鍛える効果があり、身体能力・リズム感・表現力などさまざまな能力アップにつながります。また、団体演奏が基本なので協調性を身につけ、コミュニケーション能力を高めることができます。身体をいっぱい使って、あの大きな音を鳴らしてみませんか?」とおっしゃっています。伝統文化である和太鼓の“礼に始まり礼で終わる”挨拶の仕方や、礼儀作法をレッスンの中でしっかりと、また楽しく教えておられます。現在およそ15名の生徒さんが、スポーツであり、音楽であり、伝統文化である和太鼓の練習に励んでいます。気軽に見学、体験にお越し下さい。

お問い合わせは☎090-9669-3339 高森先生まで。

イオンで「西部地区町村公民館作品展」が開催されました



9月6日(月)から20日(月)まで、イオンモール日吉津 東館2階で「西部地区町村公民館作品展」が開催されました。西部地区町村の各公民館の同好会やサークルの日頃の活動の成果を展示する催しです。絵画、焼き物、写真、手芸などなど…盛りだくさんの作品が集まりました。岸本公民館からは「陶芸教室」から11作品、「フォトクラブきしもと」から6作品が出品されました。

「ハンセン病問題啓発パネル展」が開催されました



8月13日(金)~23日(月)の間、ミニギャラリーで「ハンセン病問題啓発パネル展」が開催されました。このパネル展はハンセン病元患者の方々がこれまでにたどってきた苦難の歴史や暮らしぶりを広く県民の皆さんに知ってもらうために「ハンセン病に関する正しい知識の普及啓発事業」の一環として鳥取県が開催するものです。伯耆町では毎年町内各地でこのパネル展示を行っています。パネルでは令和2年5月現在、約1,100の方が国内13か所の国立ハンセン病療養所に入所していること、入所者のハンセン病はすでに治癒し後遺症の治療などにつとめていること、入所者の高齢化が進み、介護や福祉対策など新たな問題が生じていることなどが示されていました。ハンセン病に対しては、依然として誤った認識や偏見が存在しています。ハンセン病の患者や元患者、家族の方々が社会に温かく迎えられ、安心して生活できるよう、県民の正しい理解が求められています。

岸小2年生が公民館・図書館見学に来館されました。



9月16日(木)、岸本小学校2年生57名が生活科の学習「町たんけん」で岸本公民館・図書館に来館されました。今まで知らなかったことを発見したり、地元の人と接したりして、喜びを味わいながら意欲的に探検することをねらいにしている学習だそうです。野坂公民館長は館内を案内し、公民館の歴史や役割を話しました。「公民館の建物の高さは何メートルですか？」という難しい質問もとびだしていました。小林図書副館長は手作りのフリップで図書館の役割の小授業をしました。「図書館の職員は本を探すプロです。読みたい本が岸本図書館に無ければ、県内の図書館から本を探して借りることができます。」と話すとき驚きの声が上がっていました。このあと図書館で読みたい本を探し、貸し出しを受けました。今回の「町たんけん」で、自分たちの町の事や地域を支える人々の存在、またその思いを知ること、ふるさとに愛着や誇りをもったりする子ども達が増えていくと良いと思いました。

ギャラリーで「クラフトテープのかごと小物展」開催中



只今ミニギャラリーで「クラフト工房 COUJIN・クラフトテープのかごと小物展」を開催しています。クラフトテープを使った花編みのかごなどを20数点展示しています。会期は10月2日(土)まで。どうぞご覧下さい。



開館時間/月曜 8:30~17:00/火~金曜 8:30~21:30/土曜 9:00~21:30/日曜 9:00~17:00 休館日/国民の祝日、年末年始(12/29~1/3)



0859-68-3617



kishimotokoumin@houki-town.jp

西伯郡伯耆町吉長49